

平成12年産水稻の生育状況

農産園芸局農産課

		4 月		5 月		6 月		7 月	
気象概況		<ul style="list-style-type: none"> 北海道、東北で融雪の遅れ。 上旬は高温傾向で推移したが、中旬以降、北海道や東北地方の日本海側を中心として低温傾向。 		<ul style="list-style-type: none"> 除き全国的に高温傾向。 降水量は東北を除いて平少雨傾向。 北海道、東北で雨や曇りの日が多く、寡照。 関東地方で降雹。 		<ul style="list-style-type: none"> 上、下旬は全国的に高温傾向。 梅雨前線や低気圧の影響により、平年同様に曇りや雨の日が多い。 		<ul style="list-style-type: none"> 九州南部、南西諸島を除き全国的に高温。 北海道、東北、関東を除いて少雨傾向。 石川県でフェーン現象(7/29～31)。 	
生育ステージ	北海道	----- 育苗 -----		----- 育苗 -----		田植 -----		----- 分げつ -----	
	東北	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
	関東	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
	北陸	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
	東海	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
	近畿	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
中国四国	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		
九州(普通期)	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		
生育概況		<ul style="list-style-type: none"> 北海道、東北の日本海側を中心に、低温、融雪遅れの影響により、苗の生育、育苗作業にやや遅れ。 東海以西で低温により、苗の生育にやや遅れ。 山形、新潟、福井、島根県等では、登熟期間の高温による品質の低下を回避するため、昨年よりも作期を遅らせる指導を実施。 		<ul style="list-style-type: none"> 4月の低温により、苗の生育に遅れが生じたことで、田植え作業にも遅れ。 全国的に育苗期、本田移植後の苗に生育不良、生育遅れが見られたが、5月中旬以降、最高・最低気温とも平年を上回り生育が回復。 		<ul style="list-style-type: none"> 5月以降の高温により、各地で生育が促進。全国的に草丈が長く、過剰分げつ傾向。 全国各地で斑点米カメムシ類の発生を確認。(6月30日、岩手、新潟県が今年最初の斑点米カメムシ類に関する病害虫発生予察情報注意報を発令。) 乳白米防止策の一環として田植え時期を遅らせた稲の生育についても、高温が続いたことで平年並の生育に回復。 		<ul style="list-style-type: none"> 高温が続いていることで全国的に草丈が長く過剰分げつ傾向。 全国各地で斑点米カメムシ類が多発。昨年を上回るカメムシ類の発生に関する病害虫発生予察情報警報及び注意報が発令。 各県では、高温障害防止のための水管理、カメムシ被害を回避するための一斉防除等の徹底を指導。 いもち病の発生は少。 石川県でのフェーン被害は軽微。 	
対平年遅速		-	遅3日 ～早3日	遅10日 ～早5日	遅5日 ～早5日	遅2日 ～早7日	遅3日 ～早7日	遅1日 ～早7日	遅2日 ～早9日

平成11年産水稲の生育状況

農産園芸局農産課

		4 月		5 月		6 月		7 月	
気 象 概 況		<ul style="list-style-type: none"> ・曇りや雨の日が多く、低温傾向で推移。 ・中国四国、九州を除いて寡照。 ・中旬以降、気温が上昇。 		<ul style="list-style-type: none"> ・上、中旬の天候は良好。下旬は曇りや雨の日が多い。 ・北海道、東北地方での降水量が多く、北海道で寡照。 		<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に高温。 ・九州を中心に梅雨前線による曇りや雨の日が多く、特に下旬には前線が活発化し大雨(6/23以降)。 		<ul style="list-style-type: none"> ・上、中旬は、中国四国、九州で低温、少雨傾向。 ・中旬は、北海道、東北、関東の太平洋岸を中心に高温、多雨、寡照傾向。 	
生育 ステ ージ	北海道	----- 育苗 -----		----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
	東北	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
	関東	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
	北陸	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
	東海	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
	近畿	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----	
中国四国	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		
九州(普通期)	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		
生 育 概 況		<ul style="list-style-type: none"> ・九州南部の早期栽培では、低温から育苗作業にやや遅れ、苗の品質も低下傾向。 ・中旬以降、高温が続いたことで苗の生育が徒長傾向。 		<ul style="list-style-type: none"> ・5月の高温により苗の生育、活着は全国的に順調。 ・九州の一部地域で少雨傾向による水不足から、代かき、田植え等水を必要とする作業に若干の遅れ。 ・関東では、高温により苗の生育が軟弱徒長傾向。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高温により、生育が促進、分げつ数が急増。 ・中旬以降の梅雨期間の降雨により、九州、東海では日照不足等による軟弱徒長の傾向。 ・6月21日、熊本県で11年最初の斑点米カメムシ類に関する発生予察情報注意報を発令(6月23日、宮崎県発令)。 ・6月23日以降の梅雨前線豪雨により、西日本を中心として一時的な圃場の浸冠水、土砂の流入等が発生したが、生育面への影響なし。 		<ul style="list-style-type: none"> ・6月下～7月上旬にかけての梅雨前線による一時的な天候不順から、それまで促進されてきた生育が平年並に近づいた。 ・7月下旬から全国各地で著しい高温傾向。 ・九州を中心に、移植後の寡照や断続的な降雨の影響を受けた地域では草丈がやや長く伸長。早期米に収穫遅れ、普通期米に軟弱徒長等の影響。 ・斑点米カメムシ類が全国的に発生。 	
対 平 年 遅 速		-	遅2日 ～早3日	遅7日 ～早5日	遅2日 ～早5日	遅1日 ～早6日	±0 ～早7日	遅1日 ～早10日	遅3日 ～早7日

平成11年産水稻の生育状況

農産園芸局農産課

		8 月		9 月		10 月		11 月	
気 象 概 況		<ul style="list-style-type: none"> 北日本、東日本で高温、少雨、多照傾向。 中国四国、九州では曇りや雨になることが多く、特に九州で日照時間が少なく、多雨。 		<ul style="list-style-type: none"> 全国的に高温。 中国四国、九州では多雨、寡照傾向。 中旬～下旬前半にかけては秋雨前線の停滞により全国的に曇りや雨の日が多い。 台風16、18号が上陸。 		<ul style="list-style-type: none"> 上中旬は高温傾向。 北海道、東北、関東の太平洋岸で晴れの日が多い。 		<ul style="list-style-type: none"> 東北から東日本の太平洋側にかけて晴れの日が多い。 中旬に低気圧と台風が日本付近を通過、西日本を中心にまとまった降雨。 	
生育 ステ ージ	北海道	出穂 ----- ~~~~~		登熟 ~~~~~	収穫 ~~~~~				
	東北	出穂 ----- ~~~~~		登熟 ~~~~~	収穫 ~~~~~				
	関東	出穂 ----- ~~~~~		登熟 ~~~~~	収穫 ~~~~~				
	北陸	出穂 ----- ~~~~~		登熟 ~~~~~	収穫 ~~~~~				
	東海	出穂 ----- ~~~~~		登熟 ~~~~~	収穫 ~~~~~				
	近畿	出穂 ----- ~~~~~		登熟 ~~~~~	収穫 ~~~~~				
	中国四国 九州(普通期)	出穂 ----- ~~~~~		登熟 ~~~~~	収穫 ~~~~~				
生 育 概 況		<ul style="list-style-type: none"> 7月下旬～8月上旬まで、著しい高温傾向が継続。 北海道、東北、関東等では高温により出穂、登熟が前進。 四国、九州では、7月下旬からの断続的な降雨により、早期米に品質の低下、普通期米の出穂が遅れ。 斑点米カメムシ類が全国的に発生。 		<ul style="list-style-type: none"> 北海道、東北、関東では高温により収穫期が前進。 四国及び九州では7月下旬から続く天候不順により生育・収穫作業が遅れ、収量・品質とも低下傾向。 6月以降、全国19県から延べ20県の病害虫発生予察情報注意報(斑点米カメムシ類)が発令。 台風16、18号の上陸により九州を中心に浸・冠水、倒伏被害が発生。 		<ul style="list-style-type: none"> 北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿では、高温により生育が大幅に促進されたが、登熟期間の高温により乳白米が多発し、品質が低下。 西日本では台風、長雨、日照不足等の影響により、充実度不足等による品質の低下。 			
対 平 年 遅 速		遅3日 ～早7日	遅9日 ～早7日	遅9日 ～早10日	遅5日 ～早10日	遅10日 ～早17日	遅10日 ～早11日		

平成6年産水稻の生育状況

農産園芸局農産課

		4 月		5 月		6 月		7 月	
気 象 概 況		・近畿から東北を中心に少雨、全国的に高温。		・北日本では高温、多雨、多照。 ・西日本を中心に高温、少雨、多照。		・全国的に高温傾向。日照時間はほぼ平年並み。 ・全国的に梅雨入りは平年並だったが、梅雨前線の活動が不活発なため 少雨傾向。		・梅雨期間は短く、平年より早い梅雨明け。梅雨前線の活動が不活発。 ・梅雨明け後は晴れて暑い日が続き、全国的に春以来の少雨により水不足が深刻化。	
生育ステージ	北海道	----- 育苗 -----		----- 育苗 -----		田植 -----		----- 分げつ -----	
	東北	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		----- 幼穂形成 -----	
	関東	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		----- 幼穂形成 -----	
	北陸	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		----- 幼穂形成 -----	
	東海	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		----- 幼穂形成 -----	
	近畿	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		----- 幼穂形成 -----	
	中国 四国 九州 (普通期)	----- 育苗 -----		----- 田植 -----		----- 分げつ -----		----- 幼穂形成 -----	
生 育 概 況		・関東、九州で3月の低温により苗の生育に遅れ。 ・東北の一部地域で融雪の遅れから育苗作業に遅れ。 ・4月後半から気温が高めに推移し、苗の生育は回復。		・苗の生育・活着は良好。 ・作業の進展は例年同。なお、新潟、石川の中山間地域で、水不足から田植作業に遅れ。 ・東海の一部地域で少雨のため取水制限を実施。 ・四国～九州にかけてイネミズゾウムシによる被害(食害)が発生。		・高温・多照により全国的に生育が促進。関東以西では過剰分げつ傾向。 ・北陸を中心に移植苗の枯死、生育遅延等の干害が発生。 ・葉いもちが全国各地で散発。		・高温・多照が続いていることで全国的に生育が平年並でないし数日から1週間程度促進。 ・関東以西で渇水傾向。 ・北陸での干害による生育不良は6月下旬の降雨で回復。 ・全国的にいもち病が散発しており、7月1日現在、25県で病害虫発生予察情報注意報(いもち病)が発令。	
対 平 年 遅 速		-	遅7日 ～早3日	遅5日 ～早5日	遅3日 ～早5日	遅3日 ～早7日	遅2日 ～早10日	±0 ～早9日	±0 ～早10日

平成6年産水稻の生育状況

農産園芸局農産課

		8 月		9 月		10 月		11 月	
気 象 概 況		<ul style="list-style-type: none"> ・高温、少雨傾向が継続。 ・春以来の少雨が続き、ほぼ全国的に水不足が深刻化。 		<ul style="list-style-type: none"> ・北日本、東日本で高温、多雨。西日本は少雨、多照傾向。 ・台風26号が上陸。 		<ul style="list-style-type: none"> ・移動性高気圧に覆われることが多く、全国的に高温・少雨。 		<ul style="list-style-type: none"> ・九州中心に高温、少雨。 	
生 育 ス テ ー ジ	北海道	出 穂 ---~~~~登 熟 ~~~~~ 収穫 // // //							
	東北	-- 出穂 ---~~~~登 熟 ~~~~~ 収穫 // // //							
	関東	出 穂 ---~~~~登 熟 ~~~~~ 収穫 // // //							
	北陸	出 穂 - ~~~~~登 熟 ~~~~~ 収穫 // // //							
	東海	出 穂 --~~~~登 熟 ~~~~~ 収穫 // // //							
	近畿	出 穂 --~~~~登 熟 ~~~~~ 収穫 // // //							
	中国四国 九州(普通期)	出 穂 - - - - ~~~~~登 熟 ~~~~~ 収穫 // // //							
生 育 概 況		<ul style="list-style-type: none"> ・高温・多照が続き全国的に生育は平年並～2週間程度促進。 ・全国的に用水不足の傾向。稲の生育が出穂期前後で水が必要な時期にあったことから、各地で灌水による効率的な水利用や、揚水機の使用等による用水確保を実施。 ・天水やため池、小河川等に依存する地域では、用水の枯渇による萎凋等生育への影響が散見。 		<ul style="list-style-type: none"> ・生育期間を通じて高温・多照が続いたことで全国的に登熟・収穫期が大幅に前進。 ・高夜温による登熟への影響が懸念。 ・台風、降雨等により倒伏が多発。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高温・多照により全国的に収穫期が大幅に前進。 ・北陸および西日本を中心に登熟期の高温・干ばつの影響により乳白米等が発生。 ・東北地方の一部地域で、登熟期の高夜温および倒伏の影響により一部品種の品質が低下。 			
対 平 年 遅 速		±0 ～早13日	±0 ～早14日	±0 ～早16日	遅3日 ～早16日	遅3日 ～早16日	遅3日 ～早15日		